

# なかしゅんべつ

2012  
**10**  
No.417



## 目次

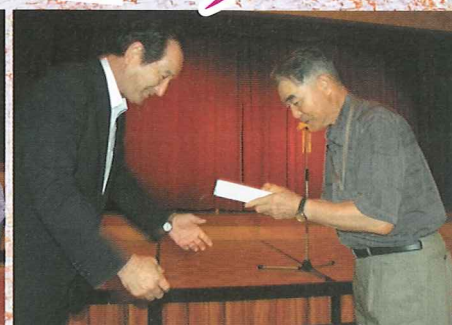
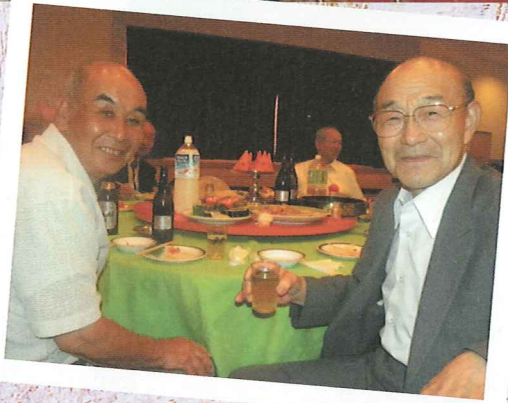
敬老会……………	2～3	草地管理勉強会……………	8
中春別神社例大祭……………	4	農業者年金説明会を開催…	10
くるるの杜物産フェアに参加…	5	新規就農……………	11
管内農協交流ゲートボール…	6	別海高校酪農経営科・専攻科たより	12～13

今月号では、豊原地区に新規就農された加藤さんご家族をご紹介します。

JA中春別  
敬老会

日頃の感謝と尊敬の気持ちを込めて

みなさん益々元気で  
喜びの笑顔に満ちています

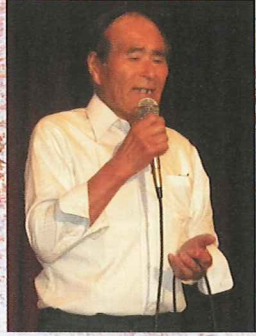


70歳以上の方々を対象としたJA中春別敬老会が、9月14日(金)ウエディングプラザ別海にて、対象者214人の内、83人の出席者のもと盛大に開催されました。

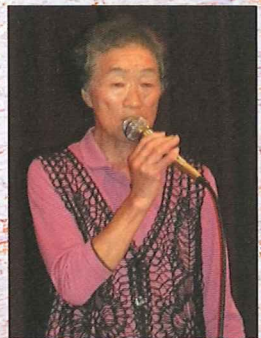
小湊代表理事組合長のあいさつより始まり、別海町社会福祉協議会会長・木村征俊様より祝辞をいただきました。続いて記念品の贈呈が行われ、今年度、米寿を迎えられた2人には別海町より記念品が贈呈され、古希を迎えられた7人の方々には、別海町社会福祉協議会より記念品が贈呈されました。また、今後も健康で元気に過ごしていただきたいとの願いを込めて、70歳以上の方々全員に農協より記念品が贈呈されました。

記念品の贈呈が終わり、中春別町内連絡協議会会長・藤原憲二様の乾杯の音頭とともに祝宴に入りました。各テーブルではおいしいご馳走を囲みながら、久しぶりに顔を合わせた友人と趣味・お孫さんの話などいろいろな会話をし、終始笑い声が溢れていました。

また、ステージ上では、豊原手踊りグループ・美原明友



カラオケで得意な歌を披露してくれました

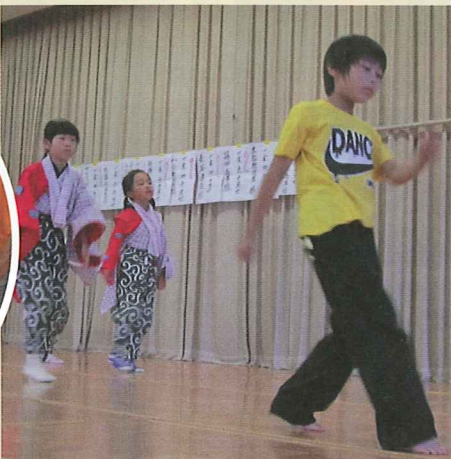


会（美原踊りの会）による余興が行われ、その後皆さんお待ちかねのカラオケが始まり、日頃鍛えた自慢の喉を披露され、会場を大いに盛り上げていただきました。  
楽しい時間は早く過ぎてしまふものであり、あっという間にお時間がきてしまいました。敬老会対象者を代表し、美原地区・竹田國男様より謝辞をいただき、美原連合会会長・上神聡史様の万歳三唱にて敬老会の幕を閉じました。  
今回、出席していただいた皆さん、日々元気に充実した毎日を過ごされているようです。これからも笑顔を絶やさず、1日1日を大切に末永くお元氣な姿をお見せ下さい。

中春別  
神社例大祭



園児たちのかわいらしい踊り



小学生によるヒップホップ



女の子たちは尻相撲に挑戦

ダンスや舞踊、尻相撲、  
恒例の玉ねぎリレーなどで賑わった二日

9月8日から9日にかけて中春別神社例大祭が開催されました。

2日目の本祭りはいくの雨だったため、毎年恒例のお神輿は中止されましたが、福祉館の中で保育園の園児達の可愛らしいダンスや小学生によるヒップホップ、舞踊などが披露され訪れた観客を喜ばせました。

踊りが終わるとステージ上で尻相撲大会が行われ、男の子も女の子も関係なく、全力の試合が見られ、勝負が決まると客席から歓声がわきました。

また、毎年恒例の町内会の班対抗で行われる玉ねぎリレーは、大人たちが一丸となって玉ねぎを渡していく早さを競います。神社祭りが終わるころには大量の玉ねぎをお土産に持ち帰り、一日中賑わいを見せた中春別神社祭となりました。



毎年恒例の玉ねぎリレー、一丸となって玉ねぎを渡しています

## くるるの杜JA中春別物産フェアに参加 乳(ミル)ほた餃子が店内にて販売されます

JA中春別店舗では、2010年夏にオープンしました「ホクレン食と農のふれあいファーム・くるるの杜」北広島市にて、乳(ミル)ほた餃子、牛サイコロステーキ、牛ハンバーグの

JA中春別物産フェアを行いました。当JAでは、2年前より地元食材を活用した特産品の開発を行い、餃子の皮には低脂肪牛乳、具材には野付産ほたての貝柱・ヒモを使った「乳(ミル)ほた餃子」を商品化しました。

くるるの杜には直売所が用意され、全道各地より旬の農畜産物が集められ、地元北広島市だけではなく札幌市近郊にもチラシが配布され、大々的に販売を行っており、今回のイベント参加は「乳(ミル)ほた餃子」の販売契約を目的に、8月31日～9月2日までの3日間行いました。

店舗職員に青年部員より兼松部員も参加し販売を展開、お客さんからは「モチモチしておいしい」など嬉しいお言葉をいただき、中には3日間ご来店されたお客さんもいるほどでした。

本イベントは好評のうちに終了し、同店との契約も交わされ「乳(ミル)ほた餃子」が新たに陳列されるようになりました。



「モチモチしておいしい」と好評だった乳(ミル)ほた餃子。くるるの杜に新たに陳列されます

## 香ばしいにおいに誘われ 長蛇の列

別海町産業祭に出店



香ばしい臭いに誘われ長蛇の列ができました



青年部部員も積極的に参加

別海町産業祭が9月16日(日)に別海町農村広場にて開催されました。JA中春別青年部(金子琢哉部長)では、今年も別海町産業祭会場にて、当農協店舗とともに乳(ミル)ほた餃子・牛サイコロステーキ・牛ハンバーグの販売を行いました。10時から提供された商品は、香ばしい匂いを会場で漂わせ、そのおおいに誘われた来場者が長蛇の列を作り大賑わい。格安での提供という事もあり、用意していた商品はほぼ完売となり、産業祭を盛り上げました。参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。



JA標津と合同チームで望みプレイを楽しみました

# はつらつとプレイを楽しみ 交流と親睦の輪をひろげました

管内農協交流ゲートボール

8月23日(木)に、第20回管内農協交流ゲートボール大会が行われました。当日は天候に恵まれはしたものの、今年一番の暑さとなり、体調を崩す方が出るのでと心配されましたが、全19チーム約150人の選手1人も体調を崩す事無く、元気はつらつとプレイしていました。



チームワークは良かったのですが...

JA中春別からは今回1チームしか参加できなく、JA標津と合同チームということで参加しました。惜しくも団体戦の入賞を逃し、悔しい結果となってしまいました。お互いの親睦と交流の輪が広がったゲートボール大会となりました。

また、来年に向けて練習に励んで

いただき、入賞目指して頑張ってもらいたいと思います。大変お疲れ様

でした。

大会結果

団体戦成績

優勝

JA中標津

準優勝

JA計根別

3位

JA道東あさひ別海

支所

## 各商品大好評！ 全て完売しました

サンデー  
ランチマーケット



たくさんの来客で賑わいました



9月9日(日)別海町交流館ぷらと前で、別海マルシェサンデーランチマーケットが開催されました。当地域からはAコープ中春別店、なかやまミルク工房、ふあ〜むながのが出店いたしました。

開催テーマは「おにく」そして「別海のチーズ」ということで、当農協からは牛サイコロステーキ、乳ほた餃子の即売を行いました。別海町のチーズ直売コーナーではなかやまミルク工房のチーズの販売が行われました。

天候はあまり良くありませんでしたが、どちらの商品も大好評でお昼過ぎにはすべて完売いたしました。



昼過ぎには全て完売

# ボランティア組織そよかぜ 会員募集

ボランティア組織そよかぜでは一緒に活動する仲間を募集しています。

活動内容はお誕生日はがきの作成、介護施設へのウエス（古布）寄付、訪問ボランティア、女性部と合同の視察研修や講習会など様々な活動を行っています。取組方針は「できることから」。たくさんの方の笑顔に会えるよ

うに、自分たちの「できることから」活動しています。一緒に活動してみたい方、活動に興味のある方はお気軽に営農振興課へ761-2241までご連絡ください。



出来上がったお誕生日はがき



## べっかい牛乳を配付し、交通安全を呼びかけました

街頭啓発



街行くドライバーに交通安全を呼びかけました



ドライバーにべっかい牛乳を手渡すJA中春別女子職員

9月21日、中春別消防署前で秋の街頭啓発が行われ、道行くドライバーにべっかい牛乳を配布し、交通安全の呼びかけを行いました。  
地元町内会、連合会、農協職員など約20人の協力があり、安全運転やシートベルトの着用の確認と交通事故の防止を呼び掛けました。毎年事故が多発する時期でもあることから、一人ひとりの交通安全に対する意識が必要です。シートベルトの着用、スピードダウンはもちろんのこと事故の無いように安全運転をお願いいたします。

# 良質粗飼料の確保に力を入れ、 地区内の草地維持管理の向上になれば

去る8月22日に豊原酪農青年研究会主催(以下酪青研)による草地管理勉強会が酪青研の会員、みらい塾の塾生、また、関係機関の参加のもと開催されました。

当日は草地更新の機械実演会として30℃を超える暑さの中、豊原地区奥山牧場の圃場にて実施されました。この勉強会については、酪青研が前々から草地更新を実施し、経過を皆で調査していく勉強会を行ってみようというところから話が進みましたが、実施する圃場の選定が決まらず足踏みをしていたところ、奥山牧場のご厚意により実施に移ることができました。

事前準備として、更新前の土壌診断、植生調査、収量調査を行い関係機関からの座学を受け草地管理の知識を深めていきました。当日の草地更新の実演会では、除草剤を撒いて枯殺処理を行った圃場を草地に溝を切り、その中に種を播種する工法で知られる作溝法を用



ハーバーマットによる播種



シードマチックによる播種



ダブルソイラによる心土破碎



エアレーター (樹物根の活性化)

いて実演され、追播機としても利用されるハーバーマット(15mmの深さに播種)とシードマチック(20〜40mmの深さに播種)の両機械を使用して1haずつ簡易更新を行いました。その隣の圃場では完全更新を行い、心土破碎、簡易耕を同時に行うことが可能であり、草地の根域を拡大され、干ばつ害の低減にも効果があるダブルソイラが実演されました。

また、草地の硬盤層を破碎して、草の根の張りを深くし、収量増加の効果も期待されるソイルエアレーターも実演され、参加された皆さんは、実際にトラクターを操縦し、機械の操作や設定、播種状況の確認を行っていました。播種は2時間足らずで完了し、実演し終わった圃場を見て酪青研の会員の皆さんは大変充実した顔をしていました。今回、企画を提案した酪青研の会長である野矢貴志さんからは、「今回の実演会では、普及センター、ホクトヤンマー、雪印種苗等

の関係機関の皆様のご指導、ご協力をいただき開催することができました。近年、地区内の草地更新率が低く濃厚飼料の価格が高騰するなか、良質粗飼料の確保に力を入れていることは急務だと思います。今回この実演会を通じて地区内の草地維持管理の向上になるきっかけになれば幸いです」と熱く語っていました。

なお、今回ご紹介した以下の作業機械は農協より貸し出しを行っていますので、草地の維持管理にご利用ください。

作業機械貸し出し価格表		
	ソイルエアレーター	ダブルソイラ
利用料(1日)	2,000円	2,000円
運搬料(往復)	5,000円	5,000円
取扱い先	(有)中春別マシンセンター 0153-76-2117	

※ 貸し出しについては中春別農協の組合員のみ対応しています。



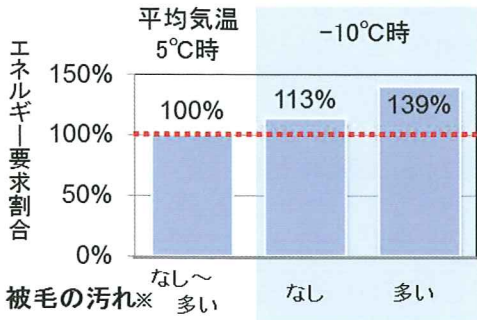


# 営農対策情報

根室農業改良普及センター

冬に向けて再確認

## 冬期間のほ育・育成牛の飼養管理



※なし：汚れなし、多い：肢蹄、腹部及び脇腹に汚れ

図1 体重140kgの育成牛のエネルギー要求割合 (平均気温5℃時を100%として) (P.C.Hoffman 抜粋改変)

だんだん日も短くなり、まもなく寒い冬がやってきます。育成牛は泌乳牛と比べて寒さに弱く、暖かい時期よりも細やかな飼養管理が必要となります。

### 寒さ対策

寒くなると、牛は代謝を高めて体温を維持するので、要求するエネルギー量が増加します。

図1は、平均気温5℃時の育成牛(体重140kg)のエネルギー要求量を100%として、平均気温-10℃時の要求量を割合で示したものです。

被毛が汚れていない場合は13%、汚れが多い場合は

39%要求量が増加します。被毛が汚れている方が、寒さの影響を強く受けることがわかります。

牛体を汚さないよう工夫すると共に、外気温に応じて配合飼料の増給をご検討下さい。

また、冷たい床や壁などに直接触れたりすぎま風が体にあたると、放熱によって牛から熱が奪われやすくなります。

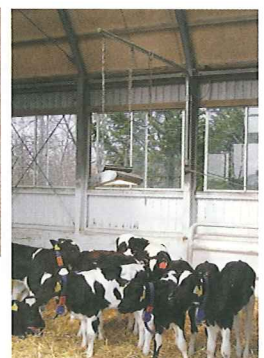
特に、寒さに弱いほ育牛では、次のような対策を講じましょう。

①カーフハッチを南東向きにするなど、可能な限り太陽のぬくもりを舎内に入れる

②ペンの上にコンパネをかぶせたり、集団ほ育施設に中天井を設けて保温性を高める

③敷料を厚く敷いたり、子牛の体が濡れないように敷料を管理する(図2)

④厳寒期は、必要に応じてヒーター(図2)や湯たんぽを設置したり(図3)、



防寒着を着用させる(図4)



図3 廃品を利用した湯たんぽ

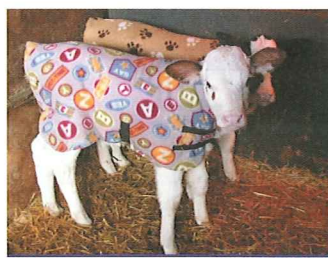


図4 防寒着の活用事例

図2 たつぷり敷料が入ったほ育牛舎 ヒーターの取付位置が高くなりすぎないように注意する▶

### 冬でも重要な換気

冬期間は寒さ対策を優先して換気がおろそかになりやすい時期です。しかし、最低限の換気は必要です。

日中の暖かい時間帯に換気したり、牛舎の出入り口を開放する際にコンパネの

置き方を工夫するなどして、牛体に直接冷気があたらないようにしましょう。

### 水の給与

水は、どの季節も共通して新鮮なものを飲みたいときに飲めるようにすることが重要です。冬期間は、極力「凍結して飲めない」ということが起こらないようにします。

バケツで給水する場合は、凍結までの時間を延ばすためにお湯を与えたり、給水回数を増やして牛が水を飲む時間を増やします。給与する際は、牛がミルクと誤認しないよう、ミルク給与後30分程度時間を空けてから給与します。

また、ほ育牛は体温が下がるので冷水を好みません。凍結の心配がない場合でも、ぬるま湯を与えましょう。

育成牛は未来の農場を支える大切な後継牛です。トラブルなく冬を乗り切るための準備を今から始めましょう。

ご不明な点がありましたら普及センターまで、ご一報下さい。

年金加入

これから受給

年金制度を知りたい

# 農業者年金説明会を開催します



農業者年金の加入をお考えの方、これから受給をされる方(そろそろ経営移譲を考えている方)、また広く農業者年金制度についてお知りになりたい方を対象に説明会を開催します。説明会終了後、個別相談も行いますので、この機会に皆様是非ご参加ください。

日時:平成24年11月15日(木)午後1時30分から1時間半程度

会場:別海町役場1階101・102会議室

説明・相談者:北海道農業会議 幡野千春さん

(個別相談等は農業委員会事務局職員もお手伝いいたします。)

\* 個別相談を希望される方は、事前に農協か別海町農業委員会までご連絡ください。

問合せ:別海町農業委員会総務担当 TEL0153-75-2111(内線1812)

## 農業者年金基金 理事長賞を受賞しました

別海町農業委員会は、平成23年度農業者年金新規加入数全道第1位・全国第2位に輝き、独立行政法人農業者年金基金理事長賞を受賞しました。

過日行われた北海道農業者年金協議会総会(札幌市)にて松田会長が表彰状と記念品を授与されました。

年金相談会を開催しました ——— JAバンク

## 年金の相談・疑問にお答えします

年金に関する相談、疑問は  
お気軽に貯金係年金担当者まで

貯金係では北海道信連の協力をいただき、9月11日(火)に年金個別相談会を開催しました。当日は年金専門の社会保険労務士であります、菊地幸子氏に来所いただき実施しました。

度重なる年金制度の改正等で、相談に来られた皆様も疑問に思う事、実際に何歳から受給すべきかなどの具体的な質問をされていました。

相談会は終了しましたが、年金に関する相談、疑問がありましたら、貯金係年金担当者までご連絡ください。





## 新しい仲間のご紹介

9月28日より、豊原地区(旧菅野茂さん宅)に  
新規就農したご家族を紹介します。

豊原地区

加藤 信宏さん(29歳)

(妻) 麻里子さん(31歳)

(長女) みのりちゃん(2歳)

(長男) 祐将ちゃん(9カ月)

## 家族賑やかに、牛を健康に 飼って、楽しく仕事がしたい

酪農学園大学で出会った  
愛知県出身の信宏さんと福  
岡県出身の麻里子さん。信  
宏さんは乳牛研究会のサー  
クルで2個上の先輩だった  
麻里子さんと出会い、二人  
の交際がスタートしました。

会計などはわからない事が  
あるので妻と頑張っていき  
たいです」と話します。

牧場で働くことに憧れてい  
た麻里子さんは大学卒業後、  
中標津で1年、ニュージラ  
ンドに渡り1年、また中標  
津で実習に励みました。後  
に卒業した信宏さんも中標  
津で酪農ヘルパーとして働き、  
平成19年にめでたく二人は  
ご結婚されました。

家では野菜を作っている  
という麻里子さん。「他にも  
趣味を探し中で、引越して  
きたばかりなのでママ友  
が欲しいです」と話します。  
お子さんは3歳になる、み  
のりちゃんと、9か月の祐将  
くん二人のお子さんに恵ま  
れ、みのりちゃんはおませさ  
んで、おしゃれに興味があ  
る女の子。牛舎では牛に蹴  
られた経験がありながらも、  
自らエサやりと糞かきなど  
を手伝う、度胸のある女の  
子です。祐将くんは愛想が  
とてもよく、人見知りしな  
い男の子です。4人でいると  
きには二人が大好きなアン  
パンマンを見たり、歌に合わ  
せて家族4人で踊ったとき  
もある程賑やかに過ごされ  
ています。これからの目標は  
「牛を健康に飼って楽しく  
仕事が出来たい」と最後に仕  
事に対するお気持ちを聞  
きました。

新規就農が決まったのは  
今年の3月に研修牧場で研  
修をはじめた頃。北海道に  
移住したいと思っていた信  
宏さんと、牧場で働きたい  
と夢見ていた麻里子さんは、  
研修牧場へ入所することを  
決めました。「どっちかとい  
うと妻の方が就農に前向き  
でした」と話す信宏さん。「仕  
事についてはヘルパーの経験  
と研修牧場での入所であま  
り不安はなかったですが、

フランスでは、広大な敷地面積を持つランジス中央市場を訪問視察しました。あらゆる生鮮食品が流通しているとのことでしたが、時間の関係から鮮魚や鶏肉(家兔肉)などはすでに終了していました。枝肉の関係と乳製品(特にチーズ)、野菜・果物を見学することができました。

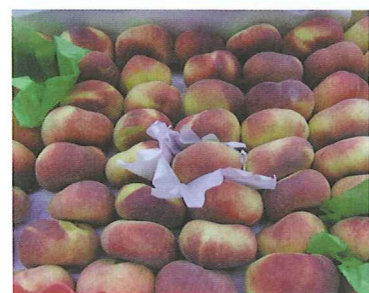


ランジス市場見学(7/27)



ランジス市場野菜(7/27)

日本からの見学者もたくさんいるようで、案内の方は、挨拶程度の日本語を話してくれました。肉やチーズもそうですが、野菜や果物な



ランジス市場果物(7/27)

ど種類も多く、興味深く視察することができました。見たことのない色のついたプロッコリーや扁平な平たいモモがありました。平たいモモは、後にスーパーで購入し食べてみました。非常に甘く、美味しいものでした。

今回の訪問では乳価が安く、決してゆとりのある経営を

行っている訳ではありませんでした。しかし、兼業による農家民宿や農家での加工は販売、バイオガスの利用など、国や風土・気候、文化・習慣・考え方の違いにより経営を進めていることがわかりました。参加生徒は、「心のゆとり」とか「生活の考え方」などを感じたようです。

将来の自家の経営やライフスタイルの確立に向けて、プラスになったはずです。

「ドイツに実習に入ったら？」現実には大変かもしれませんが、可能性として考えられるようになったようです。また、将来グローバルな視点を持って海外に出かけてほしいと思いました。

今年度の研修の実施に際しまして、別海町酪農後継者を育てる会をはじめ、多くの方々に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。本当にありがとうございました。

なお、ヨーロッパ研修の報告会は、来年の1月25日(金)に、農業特別専攻科のニュージーランド研修と合同で実施する予定です。ご来場をお待ちします。

(文責:校長 岸田 隆志)

## ●【専攻科】農業法規受講

8月22日(水)～24日(金)に外部講師の先生方による集中講義「農業法規」が実施されました。1日目の根釧農業試験場では、その指針となる第4期北海道農業計画・農業振興計画を学ぶ良い機会となりました。



講義の様子

学生達からは「様々な農作物・畜産物などの生産具体目標の現状や目標が詳しく記載されていると初めて知った」「10年後(H32年度)の目標に向けて、少しでも近づけるように努力したい」などの声がありました。また、北海道農業・農村ビジョン21には北海道のあらゆる地域の農業に対する取り組み・事例が紹介されていて、「これからの参考にさせて頂きたい」という声もありました。2日目と3日目は、専攻科ゼミ室に、JA道東あさひより、樋野考査役、臼井課長の2人をお招きして「最近の酪農・畜産情勢」「家畜排泄処理法」等について学びました。学生達からは、「具体的なデータが分かり勉強になった」「家畜排泄処理に関しては他産業への影響も考えて実施して行きたい」という言葉がありました。また、3日目の午後からは哺育・預託センターを見学させていただきました。今回学んだ「農業法規」を未来の酪農経営者としてぜひ生かしてほしいと思いました。(文責:菊地 昭吾)

## ●【NZ研修特別講座&英会話】

専攻科では、ニュージーランド研修に参加する学生を対象に特別講座と英会話の授業を行いました。ニュージーランドの歴史、産業構造、現地の酪農の仕組みなどの基本知識を学んだ後に本研修担当者より、海外生活の注意点、健康管理や現地の方とのコミュニケーションの重要性などについて説明を受けました。今年度の参加者は1人で、2か月間もの長期にわたり農場で実習を行うというのは初めての経験とあって連日真剣に取り組んでいました。

英会話の授業ではALTのベリティさんにも来ていただき、ホストファミリーへの自己紹介や緊急時の病院での説明の仕方など、実践的な会話を学びました。



講座の様子

(文責:寺内 まどか)

# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## ●【ヨーロッパ視察研修】

第37回目ヨーロッパ研修に7月21日(土)～7月29日(日)の9日間、酪農経営科3年酪農経営コース4人が参加しました。当日は、保護者や先生方に見送られ元気に出発しました。

オランダ(2日間)、ドイツ(2日間)、フランス(2日間)の3カ国を視察しました。研修中、天気も良く、フランスで少し雨が降ったくらいでよく食べ、よく寝て体調を崩すこともなく、事故もなく無事に研修を終えることができました。

前日に日程の変更がありました、大きな支障はありませんでした。研修の内容は多岐にわたり、酪農に関する視察を中心に、花卉市場見学、干拓農家の視察、農業機械関係、フランスの農産物の流通、グリーンツーリズムなど、生徒の見聞を広める上で、大変参考となる、幅広い視点での研修内容でした。

オランダでは、アールスメールの中央花卉市場を見学しました。干拓地の酪農家と、牛群改良組織(CRV)を訪問しました。酪農家では、ご主人が牧草の収穫作業中であり、奥さんが対応してくれました。搾乳はロータリーパーラー。見学のための掃除はしていないとのことでしたが気持ちよく見学させてくれました。全員がバルククーラーの大きさに驚いていました。



アールスメール花卉市場(7/23)



CRVサニーボーイ(7/24)



干拓地の酪農家(7/23)



農家の民宿先(7/24～25)

ドイツでは、乳価が安く、牛乳収益だけでは生活していけないため、兼業がほとんどで農家民宿を推奨し、経営されていました。ドイツの食事は、とても塩辛いのですが、全員がほとんど残すこともなく、完食でした。のんびりとした雰囲気に満足な様子が印象的で

5日目(25日)は、終日ドイツでの研修プログラムでした。①パイティング観光局でのグリーンツーリズムを中心とした講義。②エタールにあるチーズ工房の見学。



エタールチーズ工房での説明

③パイティングが本拠地のマシーネリングでの講義。④バィカがスプラントを有する酪農家の視察。⑤牧草の乾燥工場の見学と盛りだくさんの内容でした。

チーズ工房では、牛乳を1本買って後で飲んでみました。とてもあっさりとした感じでした。また、各自ヨーグルトも購入していました。

マシーネリングとは、農業機械銀行と呼ばれ、農業機械を農家間で相互に融通する契約を代行したり、農業ヘルパーの派遣業務、新規就農や農家を廃業する場合の相談にのったりするとの話をしていました。

グリーンツーリズムの講義では、酪農だけでは生活できないため、民宿での副収入を必要としていると話していました。会員農家はコンサルタントや研修会情報を得ることができ、ガイドマップへ掲載してもらえるメリットもあるそうです。例年このインフォメーションセンターにお世話になっているようで、1昨年前の写真を渡したところ、年を取ったのがわかると話していました。

(女性の方)

牧草の乾燥工場は、バスから降りた瞬間青草が広がっていました。乾草にするものとペレットにするものとに分けられ、作業



乾燥工場記念撮影

がなされていました。どちらにするにしても同じ価格での乾燥処理ということでした。

6日目(26日)生徒が楽しみにしていたBAYWA社の見学です。ミュンヘンから約80km離れたケンブテンという町にありました。

予想よりも大きい町で工場も大きく、全員がトラクターに試乗させてもらいました。お土産のコーナーもあり、いろいろな物が売られていました。生徒は、作業服の試着をしていましたが、サイズが合わないようでした。



BAYWA社訪問



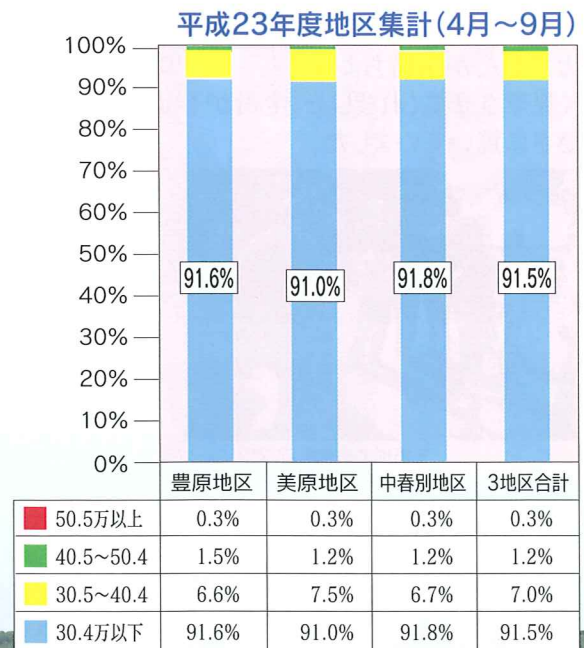
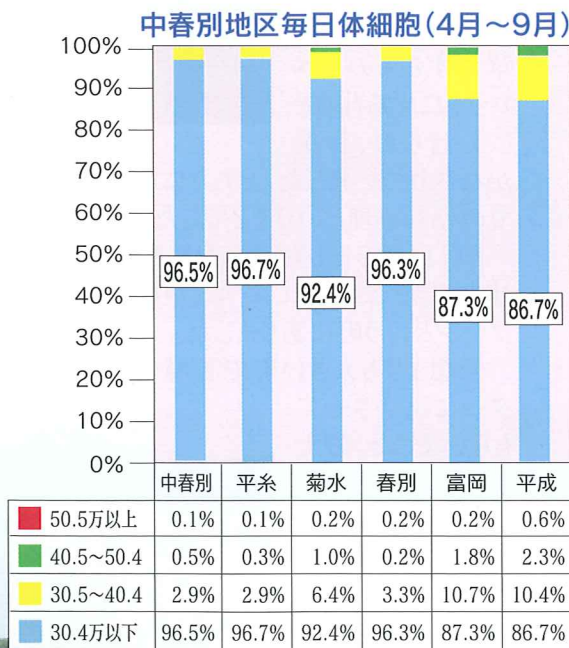
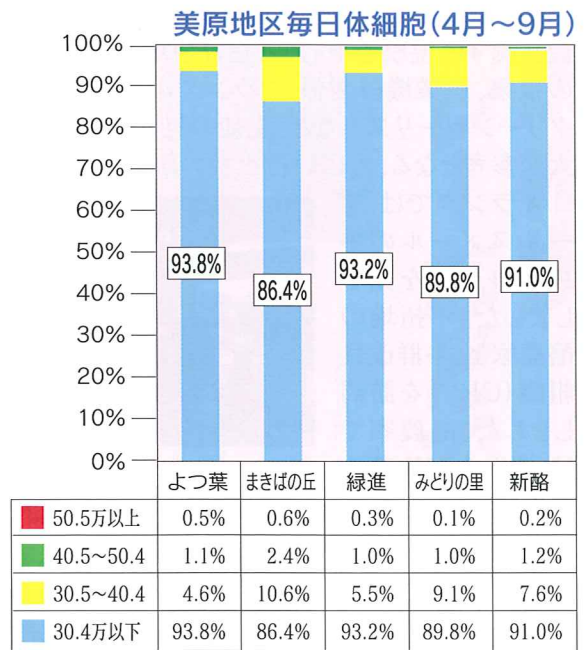
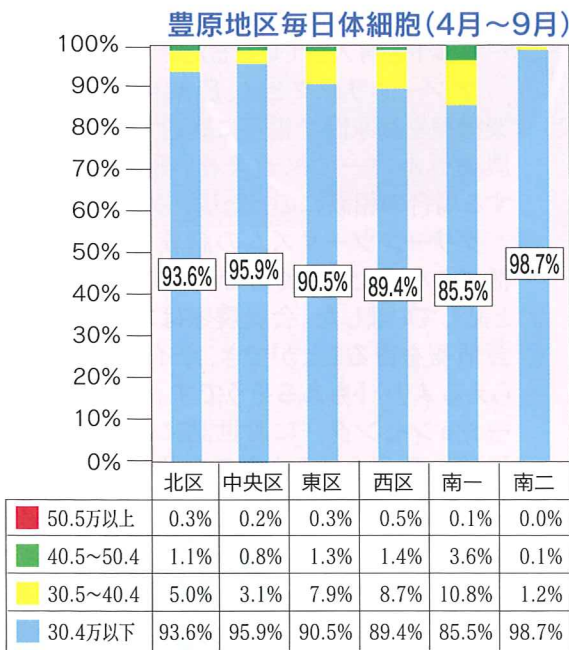
# 生乳課情報

平成24年9月30日現在

生乳汚染事故を無くそう!

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 2件 管内では 7件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件です。  
管内では 1件です。

日没も早まり、明るい牛舎は作業意欲の向上と  
牛の採食行動にも良い影響を与えます。  
牛舎内の照明器具の点検、清掃を!!



## 議案

1. 固定資産の取得について
2. リース契約について
3. 別海町家畜ふん尿貯留施設整備事業について
4. 平成24営農年度財産造成に伴う資金の貸付について

## 報告事項

1. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告について
2. JA全国監査機構監査に伴う事務整備事項の報告について
3. 平成25年度新規採用職員の条件付内定について
4. 新規採用辞令の発令について
5. 平成24年度一日皆貯金の実施について
6. 自己資本充実度の評価における総体的なリスク管理について
7. 平成24年度9月末棚卸実査について
8. 「地球温暖化対策のための税」について
9. 平成24年度8月末営農生産関連実績について
10. 平成24年根室ホルスタイン共進会の終了及び2012北海道ホルスタインナショナルショウの出品について
11. 国営かんがい排水事業の設計開始について
12. 生乳生産維持向上対策事業等について
13. パイプラインミルクカー真空管パイプ点検、洗浄について
14. 平成24年度(後期)JA中春別選定種雄牛について
15. 固定資産の取得について

## 「一日皆貯金」のご案内

一日皆貯金を10月11日・12日に実施いたします。

皆様の生活のお役に立てる「JAバンク」を合言葉に、職員が各家庭を訪問させていただきますので、ご協力宜しくお願いいたします。

## 協議事項

1. 第27回JA北海道大会議案に係る組織協議

## 8月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

## 8月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg)%		
乳脂肪分		852.269		31.42	29.77	1.65	乳脂肪分①	31円42銭		
無脂乳固形分		521.003		45.22	43.18	2.04	無脂乳固形分②	45円22銭		
補給金		4.3355		4.34	3.88	0.46	補給金③	4円34銭		
計画チーズ奨励金							チーズ奨励金④			
乳質単価	生菌数	ランク1	2	315,118,995.2kg	3.55	3.55	0.00	脂肪率	全道	3.81%
		ランク2	0	9,401,078.2kg				農協	3.85%	
		ランク3	-3	438,181.7kg				無脂固形分率	全道	8.68%
	体細胞数	ランク1	2	250,905,833.8kg	農協	8.68%				
		ランク2	1	37,986,970.5kg	成分乳価	全道	80円98銭			
		ランク3	-2	7,414,442.1kg	①+②+③+④=⑤	農協	81円36銭			
合計				84.53	80.38	4.15	乳質乳価⑥	全道	3円55銭	
							乳代合計	全道	84円53銭	
							⑤+⑥	農協	85円08銭	
								差異		55銭



## 楽しい家族と一緒に

### 目黒さん家のシャミちゃん・チュンキちゃん

猫♀シャム猫の雑種2才

犬♀ハスキーの雑種5才

中春別地区・目黒 雅明さん家

- ★**飼い始めたきっかけ** 以前に飼っていた猫に似た猫を里親サイトで見つけました。シャミは育児放棄されたばかりのところを保護されてこの家にやってきました。チュンキは知り合いからもらわれてきました。
- ★**名前の由来** 里親サイトでの名前が「シャム美」だったので呼びやすく愛嬌のある名前「シャミ」と名付けました。ポラロイドカメラのチェキからとってチュンキになりました。
- ★**好きなこと(もの)はなんですか?** シャミはおもちや。雅明さんがご飯を食べ終わると猫じゃらしを持ってきて「遊んでー」とおねだりをします。チュンキは穴掘りがブーム。
- ★**PR** シャミは子供が泣いたら心配して駆けつける優しい猫ちゃん。おすわりとまてができます。チュンキは綱をもって家に入ることが時々あるので几帳面なのかも?人が好きで家に来た獣医さんに可愛がられています。

### 編集後記

▼厳しい残暑の日々も過ぎ、一気にストーブの暖が恋しい季節となりました。天候不良が続く二番草の収穫作業が長引いたと思われれるのですが、この組合だよりが届くころには皆さんの仕事もひと段落ついた頃と思われませんがいかがお過ごしでしょうか?

▼さて、先月は敬老会が開催され、久しぶりに再開した参加者は尽きることなく会話に花を咲かせていました。話題はそれぞれですが世間話や趣味の話など。畑が趣味の人は「別な畑がきになるの!」と言って今年の豊作物について話して、「収穫の秋」を喜んでいようでした。これからも自分の趣味に打ち込んでいきいきと過ごして欲しいと思います。

▼ここ最近の冷え込みが厳しくなっております。健康管理には十分に注意し、一人ひとり体調管理を心掛けてほしいと思います。体の温まる料理を食べてもいいですね!